

# 願

四年 画数 19  
筆順 一 厂 厶 厶 原 願  
オン ガン  
クン ねがハナ

成り立ち



広い野原の意味を表した「原」と、「頭」の意味を表した「頁」とを組み合わせて作った字です。

人が頭の中で「かんがえねがう」ことは、広い野原のように、はてもなく広がっていきりありません。それで、「原」と「頭」とで、「ねがう」という意味を表しました。

「ねがう」とは、「心の中でぜひこうなってほしい」とよく思うことです。「希望(希<sup>4</sup>年<sup>4</sup>7、望<sup>4</sup>年<sup>4</sup>620)」ということばと同じような意味の字です。

〔原は元と同じく、漢音はゲン、呉音はガンである。原はゲンと漢音で読まれているのに反し、願はガンと呉音で読まれている。〕

使い方

▽流れ星に願いごとをすると、きつとかなえられるとい  
います。わたしも流れ星に願いごとをしたことがあり  
ます。その願いごとはかなえられましたから、それは  
本当のことかもしれません。

▽願望と現実とは、しばしばくい違ふものです。わたし  
たちは、現実をしっかり見つけながら、願望を達成し  
ようと努力すべきです。

熟語例

▽願望(願い望むこと。「世の中は、なかなか願望通りに  
はいかないものだが、あきらめてはいけない」などと  
いうふうに、つかいます。)

▽祈願(神さまや仏さまに、祈り願うこと。「病気がなお  
るように、百日の祈願をした」などと、つかいます。)

▽志願(何かをしようと、すすんで願い出ること。「みん  
ながいやがるそうじ当番を志願したので、びっくりさ  
れた」などというふうに、つかいます。)

▽悲願(どうしてもかなえたいと心から思っている願  
い。「ついに優勝の悲願をとげた」などというふうに、  
つかいます。)

使い方

▽作文を書く宿題が出ました。題は、「将来の希望」とい  
うのです。ぼくは今まで、将来のことを考えたことが  
ありませんでした。それで、今度、宿題が出て、将来  
の希望をあれこれ考えたのは、ちよつとおもしろいこ  
とでした。あれこれ考えたのですが、ぼくは、将来は、  
飛行機のパイロットになりたいと思います。

熟語例

▽希望(こうなつてほしいと願うこと。望み)

▽希求(欲しいと思つて、願ひ求めること。「心から平和  
を希求する」などというふうに、つかいます。)

▽希少(まれで少ないこと。「宝石は、その希少なことが  
ら値段が非常に高い」などというふうに、つかいます。)

▽希代(世にまれなこと。また、非常に不思議なこと。  
「石川五衛門という人は、希代の大どろぼうだった」な  
どというふうに、つかいます。ここでは、前の方の意  
味で、つかわれています。)

▽希薄(気体や液体などが、薄いこと。「高い山の上では、  
空気が希薄になる」などというふうに、つかいます。)

# 希

四年 画数 7  
筆順 一 ム テ 彡 希  
オン キ  
クン

成り立ち



「布(年<sup>5</sup>808)」の形を表し、布の意味を表した「巾」と、「ししゅう」のようを表した「彡」とを組み合わせた字  
です。

「ししゅう」のあるりっぱな「布」を表した字で「め  
つたにない」品物、「だれもが手に入れたいと」のぞむ  
品物」という意味を表したものです。

それで、「めつたにない」「まれ」という意味(例希少、  
希代)や、「のぞむ」という意味(例希望、希求)に使わ  
れます。

また、「少ない」という意味から「うすい」という意味  
にも使われます。(例希薄、希釈)